

# Unit Dance Bookshelf / 吉福敦子

Dance Performance

## 窓のむこう

今はぼんやり見えている窓のむこうを  
いずれははっきりと見ることになる

The other side of a window  
**2012.2.10 Fri~11 Sat**  
門仲天井ホール

振付：吉福敦子 / 出演：オカザキ恭和、森本あやこ、吉福敦子  
2月10日（金）19：30 / 11日（土）15：00、18：00  
（開場は開演の20分前）

# 窓のむこう Unit Dance Bookshelf/ 吉福敦子



時について話そうと思う。「今」とは一体いつなんだろう。「今」と言った瞬間「今」は「過去」となり「未来」がいつのまにか「今」におさまっている。瞬時に流れ去る今、今、今の点の上を、もはや虚構となった日常という外套を纏い、私たちはぴょんぴょんと危なっかしく渡っているのかもしれない。そしてその点はいつかピリオドになる。今はほんやり見えている窓のむこうを、いずれははっきりと見ることになる。

開演日時 2012年2月10日(金) 19:30 / 11日(土) 15:00、18:00 (開場は開演の20分前)

開演会場 門仲天井ホール

観料 前売: 一般 3000円 / 学生 2700円 当日: 一般学生共に 3500円 \* 学生券は当日受付にて学生証をご提示ください

チケット取扱 StudioGOO E-mail: fukugoo@yahoo.co.jp Tel&Fax: 03-3326-4945

\* お申し込みの際は [お名前、フリガナ、日時、券種、枚数、電話番号、E-mail] をお知らせ下さい

JCDN ダンスリサーチ <http://dance.jcdn.org/>

お問い合わせ StudioGOO Tel&Fax: 03-3326-4945 E-mail: fukugoo@yahoo.co.jp Web: <http://www.studiogoo.net/>

振付: 吉福敦子

出演: オカザキ恭和、森本あやこ、吉福敦子

照明: 三浦あさ子

音響: 小早川保隆

舞台監督: 十亀脩之介

舞台美術: 岩塚一恵

衣装協力: 北村敦子

主催: Unit Dance Bookshelf

協力: yahiro8、長谷川謙一郎

オカザキ恭和

2000年頃より踊りはじめ、ダンスカンパニー枇杷系をへて、07年より自身で小作品をつくって踊る。10年墨田区八広にある古い町工場を改装したアトリエ兼アトスペース yahiro8 をオープン。地元の人々を巻き込みながらのダンス作品づくり、インスタレーション企画展、アートイベント等を開催。また、知的障害をもつ人々へのダンス指導を行う。<http://yahiro8.seesaa.net/>

森本あやこ

学生時代、彫刻を学ぶ傍らフラメンコに傾倒。卒業後、舞台表現に転身。2004~09年、大阪を拠点に活動する舞踏カンパニー「千日前青空ダンス倶楽部」に所属。07年~10年、フラメンコ舞踊家 t Ama. に師事、各種イベント、ライブに参加。ソロ作品の発表の他、映画や演劇、人形劇などの舞台にも出演。京都ダンスプロダクション2007「月の砂漠—trio version」以来、吉福作品には二度目の参加。

吉福敦子

モダンダンス、バレエ、ボディワークを学ぶ。2011年青山学院大学 WSD 育成プログラム修了ワークショップデザイナー。黒沢美香&ダンサーズのメンバーとして活動した後、1989年川口隆夫と ATA DANCE を結成。共同で作品制作を行う。96年よりソロ活動開始。07年の京都ダンスプロダクションをきっかけにグループ作品を創り始める。09年夏、門仲天井ホールにて「nowhere—ばら色の日々」を上演。作品毎にユニットを組む、Unit Dance Bookshelf を今回より名乗る。動きの必然にこだわりの「書物を読むようにダンスの行間を読み解く」を信条に活動中。



09年  
「nowhere  
—ばら色の日々」  
photo: 松本和幸

今観たい、舞台や映画とは

市橋浩治 (ENBU セミナール代表)

あの日から半年が過ぎた中で、私は二つの「芝居」と「映画」が忘れられない。一つは余震や電気、交通機関が少し落ち着いた4月3日に観た芝居。劇場には震災の影響でキャンセルによる空席があったが、私は心から笑って、最後には泣いていた。舞台挨拶では涙ながらに役者が「芝居を上演するかしないかスタッフと一緒に悩みましたが、上演することを決断して本当に良かった」という話を語り、客席ももらい泣きした。そんな想いが芝居にも入っていたのだと思うし、お客様も芝居を観ている時間だけでもいい何か幸せな気持ちになっていたと思う。もう一つは3分11秒の短篇映画を数十名の監督たちが作成し、オムニバス上映された映画です。この企画は同様なものが二つあり、一つは日本の監督を中心に、もう一つは海外の有名監督が中心であった。私は圧倒的に日本の監督の方が良かった。全国各地に住んでいても日本の監督たちは残念ながらもいるような意味で被災しており、それぞれの3.11への想いを企画にストレートに描いていたからである。ジャンルや作風はバラバラなのに、どこか私には伝わってきたのです。私は「想いを伝える」舞台や映画をこれからも観たいと思っています。

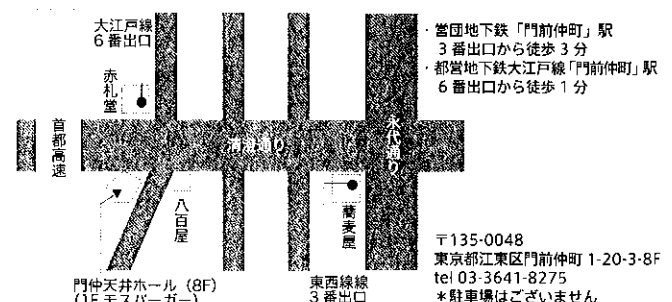
今、観たい作品

黒崎八重子 (門仲天井ホール支配人)

映画だとぼっと時間が空いたとき以前から観たい作品に出会うときがあります。こんなときも結構嬉しいひとときです。でも「今、観たい作品」は、ぼっと空いた時間ではなく前もって予定をして、その時その場に居合わせなければ成り立たない作品です。アーティストの息吹に触れ、アーティストの審美眼の雨に濡れ、私は、私ではない「私」に出会うとき、自分を手放している感じ、自由な感じ。解き放たれた秩序のなかで、生きている手応えとまんざらではない人生のひとつときを握りしめるのです。このちいばけな幸せを握りしめるために、私は日常と非日常が交差する場に劇場に出かけます。さあ、まだみぬ「今、観たい作品」に出会う冒険の旅に出かけよう。

Access

門仲天井ホール: <http://www5f.biglobe.ne.jp/~monten/index.html>



関連ワークショップ開催! \* 詳細は <http://www.studiogoo.net>

2012年1月8日(日)~9日(月・祝) @StudioGOO (京王線千歳鳥山駅徒歩10分 東京都世田谷区粕谷4-7-19)

1) ボディコンディショニングクラス 11:00~12:30 定員10人 料金: 1回1000円 (クリエイションWS受講者は500円で受けられます)

2) クリエーションワークショップ 14:00~17:00 定員12人 料金: 2日間通し3000円 (通しが原則ですが1回2000円でもお受けします)

「窓のむこう」のメソッドから各々のダンスを探るワークをします。ダンス経験の有無を問いません。2日目の最後に簡単なショウイングをします。

お申込み: StudioGOO E-mail: fukugoo@yahoo.co.jp Tel&Fax: 03-3326-4945 (お名前、電話番号、E-mail、年齢をお知らせ下さい)